

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	電気自動車借上事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課					
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造			主管課長	染谷 忠美				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市公用車	意図	地球温暖化の防止
事業内容	市公用車として率先的に電気自動車を導入することにより、その環境性能や利便性をPRし多くの市民・事業者を導入していただくことにより、地球温暖化防止に寄与するもの。 （長期継続契約 平成22年9月1日から平成27年8月31日まで）			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年3月に『ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画』を策定し、その中で市公用車については、「公用車の更新」の中で、“更新にあたっては、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車とする”と規定した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		リース台数	1	1	1	台	
指標で表すことができない定性的な成果	地球温暖化対策事業への意識の向上。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 日頃の現場作業（主に放射線量モニタリング調査）において電気自動車を使用している。また、毎年行われるクリーンセンター施設見学において児童に電気自動車の説明・試乗を行い、啓発を行っている。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,714,382	1,180,380	1,174,054			
事業費(b)(円)		1,259,822	749,700	754,834			
うち一般財源		1,259,822	749,700	754,834			
職員給与費(c)(円)		454,560	430,680	419,220			
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.06	導入効果として、従来のガソリントタイプの軽自動車と燃料代金・CO2排出量を平成25年度実績と比較した実績は次のとおりである。【燃料代金：28,146円 123,404円で約77%の削減】【CO2排出量(kg CO2)：944 1,948で約52%の削減】		
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	日常的に有効活用を図り、イベントで啓発活動を行う。
今年度(H25)に実施した取り組み	放射能対策における除染活動で日常的に利用するほか、グリーンフェスティバルでは電気自動車の展示を行い、啓発を行った。

取り組みの課題	今後も有効活用を図り、効果を分析しながら公表に努める。
今後の改善計画	日常的に有効活用を図り、イベントで啓発活動を行うとともに効果について啓発する。